

IV-69 市民農園の需要構造

徳島大学工学部 定井 喜明
 徳島大学工学部 ○近藤 光男
 徳島市役所 寺沢 均

1. 研究目的 市民農園は、都市住民に欠乏している自然と緑と土とのふれあいの場、ならびに体験・創造の健康なレクリエーションの場を与えるとともに、高齢化社会に対応し、かつ、遊休農地の有効利用をはかるため、きわめて効果的であるばかりでなく、土地利用の整序化とコミュニティ形成に大きく貢献するものと判断した。そこで徳島市を対象地域として、市民農園の需要構造を調査・分析し、その普及推進に資さんとしたものである。

2. 調査概要 徳島市の市街地64,909世帯の約2.7%、1,750世帯を無作為抽出して、市民農園（貸農園、市民農園、クラインガルテン）に対するニーズ・アンケート調査を行った。昭和60年8月に訪問配付・回収を行い、有効回収率91.6%、有効サンプル数1,603票を得た。アンケート調査内容は世帯属性の11項目を含め、25項目の質問項目からなっている。

3. 借用意志の特性 アンケート調査結果から、借用意志を「是非借りたい、条件により借りたい」を「借りたい」とし、これに「将来借りたい」と「わからない、借りる意志ない」に3区分し、クロス集計分析(χ^2 検定)して、0.5%の有意水準で有意であるもの（以下表-5まで同じ）のうち、有意に多いといえる項目・カテゴリーのみを示したのが表-1である。この表-1からわかるように、「借りたい」という人は実に27.8%にのぼり、「将来借りたい」という人まであわせると43.3%と約半数近くに達し、市民農園への需要は多くかつ強いことがわかった。「借りたい」人が求める市民農園の条件は、表-1からわかるように、20坪位の広さで年300円／坪程度の借料、借用契約期間が5年位ということになる。これら「借りたい」人には、市民農園に週に2～3回以上は自転車かバイクで行く人が多いといえる。

4. 借用目的の特性 市民農園を借りる目的は表-2に示したように、「趣味と実益をかねる」という人が約半数いる。それ以上の意義を見出す人も約半数いる。表-2でアンダーラインを引いているのはきわめて高い有意水準で有意であることを示す（他の表でも同じ）。従って、借用目的の判別の主要特性は、市民農園の利用人数であることがわかる。

5. 位置の特性 表-3からわかるように、市民農園は徳島市内の近くという人が87.7%に達している。また徳島市外でよいという人には、使用目的が「趣味と実益をかねたもの」とする人以外の人が有意に多いといえる。また表-3から、これら市民農園の立地を左右する最大要因が、市民農園までの利用交通機関、市民農園までの希望所要時間と市民農園の利用頻度の三つであることがわかる。

6. 広さと利用頻度の特性 表-4からわかるように、市民農園の広さは20坪程度と

表-1 市民農園の借用意志別特性

借用意志	有意に多い項目・カテゴリー	借用意志3区分で有意でない項目
借りたい 27.8%	園芸を現在自らやっている 園芸を現在家族がやっている 農園の広さ 20坪程度 農園の借料 年300円／坪程度 農園までの足 バイク 農園までの足 自転車 農園の利用頻度 週に2～3回以上 農園の契約期間 5年 趣味 園芸など 年齢 40～49才 家の庭面積 10～20坪	農園付帯施設 農園の借用目的 性別 居住地 職業 家族人数
将来 借りたい 15.5%	園芸を将来やりたい 農園の位置 徳島市外 農園までの許容所要時間 30分以上 農園の利用人数 夫婦2人 年齢 40～49才 年齢 50～59才 総収入 年300～500万円	居住年数 家の所有形態 車の保有状況 人生観
わからない 借りる意志 はない 56.7%	農園の広さ 60坪以上 農園の広さ 10坪程度 農園の借料 年100円／坪以下 農園の借料 年100円／坪以上、その他 農園の位置 徳島市外 農園までの足 バス、タクシー、徒歩 農園までの許容所要時間 30分以上 農園の利用頻度 月に2～3回以下 農園の利用人数 1人 農園の利用人数 子供と2人づれ 農園の契約期間 1年 趣味 特になし 農園で作るもの 無回答、その他 年齢 20～39才 年齢 60才以上 総収入 年300万円未満 総収入 無回答	

する人には「借りたい」人と「将来借りたい」人が多いといえる。また、家に20坪以上の広い庭のある人は徳島市外に30坪以上の広い市民農園を求める人に多いといえる。表-5の利用頻度別特性をみればわかるよう、週に2～3回以上市農園に行く人には、借りたいという人が多く、市民農園には徒歩か自転車で1人で行き、主婦・無職で60才以上の人が多いといふ構造となっている。

7. あとがき
以上表-1～表-5に示したことから、市民農園へのニーズがきわめて高く、か

表-2 市民農園の借用目的別特性

借用目的	有意に多い項目・カテゴリー
趣味と実益 50.7%	農園までの足 自転車、徒歩 農園までの許容所要時間 15分未満 農園の利用人数 1人 農園の利用人数 夫婦2人 年齢 50～59才 年齢 60才以上 居住年数 20年以上
健全なレクリエーションと子供の知識・情操教育 24.8%	農園の位置 徳島市外 農園までの足 自動車 農園までの許容所要時間 30分以上 農園の利用人数 子供づれで2人 農園の利用人数 家族3人以上、その他 農園の付帯施設 食事のできる小屋 年齢 20～29才 居住年数 5年未満 家の所有形態 持家一戸建以外
生産と自然の体験・実験の場など 24.5%	農園の位置 徳島市外 農園までの足 バイク、バス、汽車など 農園までの許容所要時間 30分以上 農園の利用人数 家族3人以上、その他 農園の契約期間 10年以上 農園で作るもの 無回答、その他 農園の付帯施設 温室、その他 車の保有状況 保有していない 人生観 正義・奉仕型

～3回以上市農園に行く人には、借りたいという人が多く、市民農園には徒歩か自転車で1人で行き、主婦・無職で60才以上の人が多いといふ構造となっている。

表-3 市民農園の位置別特性

位 置	有意に多いカテゴリー
徳島市内 87.7%	農園の借用意志 借りたい人 農園の広さ 10坪程度 農園の借料 年100円／坪以下 農園の借料 年300円／坪程度 農園までの足 自転車、バイク、徒歩 農園までの許容所要時間 15分未満 農園の利用頻度 週に2～3回以上 農園の利用人数 1人 農園の利用人数 子供づれで2人 農園の契約期間 1年 農園の借用目的 趣味と実益 家の庭面積 10～20坪
徳島市外 12.3%	農園の借用意志 将来借りたい人 農園の広さ 60坪以上 農園の借料 年1000円／坪以上、その他 農園までの足 自動車、バス、汽車など 農園までの許容所要時間 30分以上 農園の利用頻度 月に2～3回以下 農園の利用人数 家族3人以上、その他 農園の契約期間 10年以上 農園で作るもの 無回答、その他 農園の借用目的 レク、子供の教育 農園の借用目的 実験・体験の場など 職業 商業・サービス業 家の庭面積 50坪以上

表-4 市民農園の広さ別特性

広 さ	有意に多い項目・カテゴリー
10坪程度 36.6%	農園の借料 年100円／坪以下 農園までの足 自転車、徒歩 農園までの許容所要時間 15分未満 農園の利用頻度 月に2～3回以下 農園の利用人数 1人 農園の利用人数 子供づれで2人 農園の契約期間 1年 性別 女性 年齢 20～39才 居住年数 5年未満 家の庭面積 10坪以下 家の所有形態 持家一戸建以外 趣味 手芸、料理、お花など
20坪程度 26.1%	農園の借用意志 借りたい人 農園の借用意志 将来借りたい人 農園の借料 年300円／坪程度 農園の利用人数 子供づれで2人 趣味 読書、芸術鑑賞など
30坪以上 など 37.3%	農園の位置 徳島市外 農園までの許容所要時間 30分以上 農園の利用人数 夫婦2人 農園の契約期間 5年 農園の契約期間 10年以上 性別 男性 年齢 50～59才 職業 主婦・無職、商業・サービス業、以外の職業 居住年数 10～20年 家の庭面積 20～50坪 家の庭面積 50坪以上 趣味 園芸など

表-5 市民農園の利用頻度別特性

利 用 頻 度	有意に多い項目・カテゴリー
週に2～3回以上 44.7%	農園の借用意志 借りたい人 農園までの足 自転車、徒歩 農園までの許容所要時間 15分未満 農園の利用人数 1人 農園の契約期間 5年 農園の契約期間 10年以上 年齢 60才以上 職業 主婦・無職 趣味 園芸など
週に1回 42.3%	農園の借用意志 将来借りたい人 農園までの足 自動車 農園の契約期間 3年位 年齢 40～49才 職業 商業・サービス業 職業 主婦・無職、商業・サービス業、以外の職業
月に2～3回以下 13.0%	閑散の実施状況 してない、興味ない 農園の借用意志 ない、わからない 農園の位置 徳島市外 農園までの足 自動車 農園までの許容所要時間 30分以上 農園の利用人数 家族3人以上、その他 農園の契約期間 10年以上 農園で作るもの 無回答、その他 農園の付帯施設 温室、その他 農園の借用目的 レク、子供の教育 性別 男性 職業 商業・サービス業 趣味 特になし

つ、その需要内容・構造が明らかになったので、今後市民農園の供給条件を調査・分析し、その普及推進的具体的方策を提示したい。

【参考文献】 1) 建設省都市局; 大都市地域における市街化区域内農地の都市的利用に関する調査、国土協会、昭和58年3月。 2) 津端修一; クラインガルテンとクラインヴァルト①～③、厚生省“厚生”，昭和58年2月号、3月号、4月号。 3) 横山光雄; クラインガルテンの発達と意義、建設工業調査会、昭和57年11月。